



大場 洋介 議員

災害廃棄物の一時集積場所の確保や整備は

【回答】基本計画を今年度内に策定する

防災士の役割と今後の育成は
 大場 洋介 議員 集中豪雨等による災害や緊急な避難への対応には、日頃の防災活動や防災訓練などの強化への必要性を強く感じる。防災に対する意識は高まっているものの、行政区が地域防災組織を完全に運営するのは難しいととらえる。2年前に金山町でも発生した集中豪雨での被害を目の当たりにし、防災士の関わりと今後の防災リーダーとして育成の展開を伺う。

町民税務課長 知識・意識・技術を有する人材を活用して防災・減災を高める目的として、平常時には自主防災組織における訓練の企画や指導、地域住民への知識の普及活動。災害

大場議員 障がい者・高齢者・妊産婦・乳幼児など、避難行動要支援者名簿によって対象者が一定程度把握されているが全てではない。地震や水害などの災害

発生時には、公的支援が来るまでの応急対応活動をする。各地域の自主防災組織をはじめ、町民の防災に対する意識に寄与する活動に従事して頂くと共に通年2名程の防災士資格希望者を募集し、広報で活動を周知する。

大場議員 町の国家資格及び国家検定の資格取得助成金を更に強化し、周知すべきと考え

町民税務課長 受講希望者の負担が生じないように、資格取得制度とは別に防災士に向けて予算計上をしている。

大場議員 コロナ禍の中での避難所設置対応は、

町民税務課長 受付時の検温・手指消毒・住所などの記名を行い、段ボールベットや間仕切りなどのパーティションの活用による区画の実施、避難者ごとの居住スペースの空間確保する。

大場議員 障がい者・高齢者・妊産婦・乳幼児など、避難行動要支援者名簿によって対象者が一定程度把握されているが全てではない。地震や水害などの災害

時の逃げ遅れによる犠牲者を出さないためにも、避難が困難な方への寄り添った取り組みをどう考えるか。

町民税務課長 要支援者台帳を作成後、関係者と情報共有し、プライバシーに配慮し、近隣住民による安全確保の支援を頂きながら二次災害を避け補助にあたる。

大場議員 障がいの種別に応じて避難経路が記載された防災ハンドブックなどの必要性は、と連携し、個々の避難方法を決めておく個別計画の作成の検討も考えられる。

大場議員 災害発生時の避難所運営において、女性性の視点が生かされないことが懸念され、対策の充実が求められる。今後の見解は、

町民税務課長 防災基本計画や男女共同参画ガイドラインを進める上で、子供や高齢者への配慮に關しては、女性特有のきめ細やかな対応が必要となる。婦人防火協力班や婦人会役員に周知を図りたいと考える。

町長 利用しやすく長期に亘り生活環境保全上、支障がなく適切な管理が可能であり、且つ廃棄物処理の際に搬出しやすい条件に適した場所を、最上管内8市町村の災害廃棄物処

災害廃棄物の一時集積場所の確保策は
 大場議員 7月の豪雨にて最上川の氾濫において家屋の浸水による家具等の災害廃棄物が山積みになされている。光景を目の当たりにし、いつ何時、甚大な自然災害が発生するか想定できない。そのため災害廃棄物について円滑かつ迅速な処理体制をあらかじめ構築しておくことが重要であると思ふが計画は、

町長 利用しやすく長期に亘り生活環境保全上、支障がなく適切な管理が可能であり、且つ廃棄物処理の際に搬出しやすい条件に適した場所を、最上管内8市町村の災害廃棄物処



防災訓練（西郷地区）

減量化を目指す。

環境整備課長 ゴミ総排出量は減少傾向であるが、人口減少の割合が大きい。1人1日当たりの排出量は微増傾向である。3Rに加えて、リフューズ（拒否）リペア（修理）を意識し、全町美化運動を軸に5Rの推進とゴミの分別ルールの徹底について啓発を行いながら、より一層のゴミの減量化を目指す。

理計画の素案を基に廃棄物の発生量に応じて集積場所を選定し、今年度中に策定できるよう進めたい。

大場議員 モデル事業の事項として、具体的な候補地は、

町長 防災計画の整合性を図り選定地区の協議会を行いながら、慎重に選定したい。

大場議員 3Rの推進について現状と課題は、リデュース（減らす）、リユース（再利用する）、リサイクル（再生して再利用する）廃棄物の3Rを推進し、関連産業の振興を図ると共に適正処理を実施し、緑あふれる自然を将来の世代に引き継いでいくための努力が更に必要とされる。



9月定例会の初日(9/4)に次の事項について一般質問が行われました。(通告順)

- ◆ 大場 洋介 議員 …… P11
 - ① 地域防災組織強化について
 - ② 環境衛生について
- ◆ 須藤 典夫 議員 …… P12
 - ① 先送りになっている「中央公民館建設」「定住促進住宅整備事業」はどうするか
- ◆ 中村 忠行 議員 …… P13
 - ① 美しい景観の保全策は
- ◆ 沼澤 道也 議員 …… P14
 - ① 地域福祉計画の充実・推進について
 - ② 農地基盤整備事業への取り組みについて

一般質問とは
 年4回の定例会で行う。議員が町の行政全般について、事業執行の状況や将来の方針等について所信を質し、あるいは、報告や説明を求めるなどの政策論議の場である。
 町議会では、質問要旨を事前に通告することとし、60分という限られた時間内で、大所高所からの建設的で簡明な質問が求められている。